

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。



(2010年ver. 1.8)

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |             |
|----------|-----------------------|--------|-------------|
| 建物名称     | 広島刑 鍛錬場・待機所棟          | 階数     | 地上2F        |
| 建設地      | 広島市中区吉島町13番114号       | 構造     | RC造         |
| 用途地域     | 第2種住居地域               | 平均居住人員 | 150 人       |
| 気候区分     | 地域区分IV                | 年間使用時間 | 2,600 時間/年  |
| 建物用途     | 集会所                   | 評価の段階  | 実施設計段階評価    |
| 竣工年      | 2019年9月 予定            | 評価の実施日 | 2014年11月20日 |
| 敷地面積     | 79,905 m <sup>2</sup> | 作成者    | 野村徹         |
| 建築面積     | 2,218 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2014年11月22日 |
| 延床面積     | 2,097 m <sup>2</sup>  | 確認者    | 田村正道        |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 76%  
③上記+②以外の 76%  
④上記+ 76%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境: 3.0, 温熱環境: 1.5, 光・視環境: N.A., 空気質環境: 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性: 3.0, 耐用性: 3.5, 対応性: 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物の: 5.0, 自然エネ: 3.5, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化: 3.9, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

| 「地球温暖化対策」の推進  | 「ヒートアイランド対策」の推進             | 「長寿命化対策」の推進   |
|---|-----------------------------|---|
| スコア = 3.9   | スコア = 1.8                   | スコア = 3.4   |
| <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>断熱性能の向上および日射負荷の低減によりBPI=0.257 / 屋根面に太陽光発電パネルを設置 / 高効率機器の採用及び自然塩ルギー利用によりBEI=0.66 / 節水型大便器(洗浄水量6.5L/回以下) / 非構造部: せっこうボード・ビニル床シート・断熱材 / 断熱性能及び省エネ性能の向上によりLCCO2 76% | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>/ | <b>設計の計画上特段に配慮した事項</b><br>建築基準法の25%増の耐震性を確保 / 床: ビニル床シート(20年) 内壁: EP(65年) 天井: せっこうボード(30年) / 給水: SUS管 (C-30年) 排水: 排水用硬質塩ビライニング鋼管 (C-30年) / 非常用発電機回路を備え、地階・ピット内に精密機器を設置していない / メタルケーブル、PHS網が備わっている / |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される